



資料提供年月日	令和5年 2月13日	
問い合わせ先	課名	交通政策課
	電話	直通 803-1376 内線 3620
担当者	職名・氏名	課長 是友 修二
	職名・氏名	係長 秋永 淳一郎

広 報 連 絡

<市長定例記者会見資料>

- 1 件 名 路線バス・路面電車の運賃無料DAYの実施結果について
- 2 内 容 公共交通の利用促進とともに、経済の活性化を図るために実施した、路線バス・路面電車の運賃無料DAYの実施結果について、お知らせします。
(別紙参照)

1. 運賃無料DAYの実施概要



実施日(全8回)

7/24日	8/28日	9/25日	10/30日
11/3木祝	11/20日	11/27日	12/25日

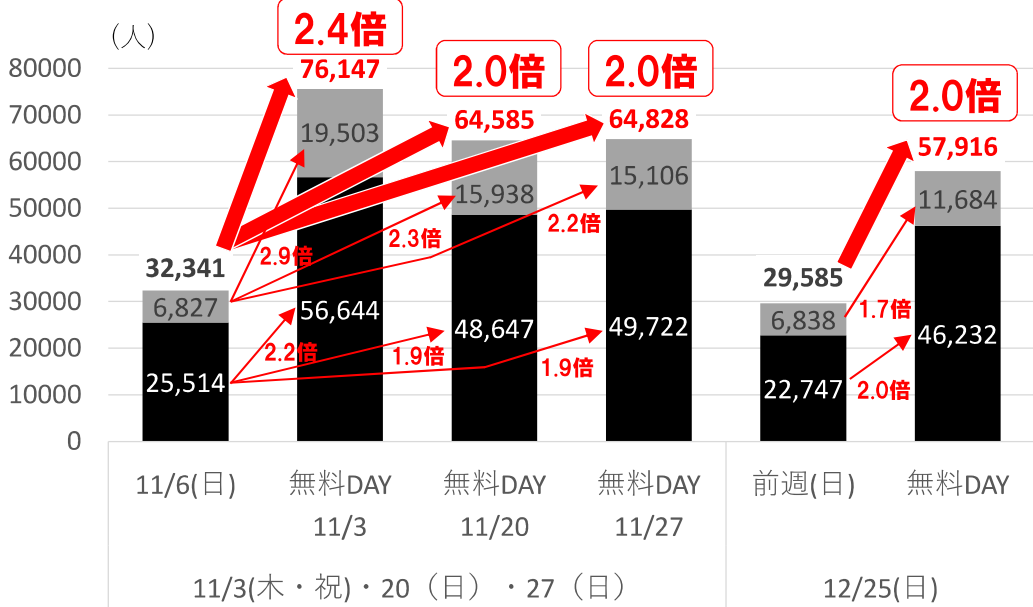
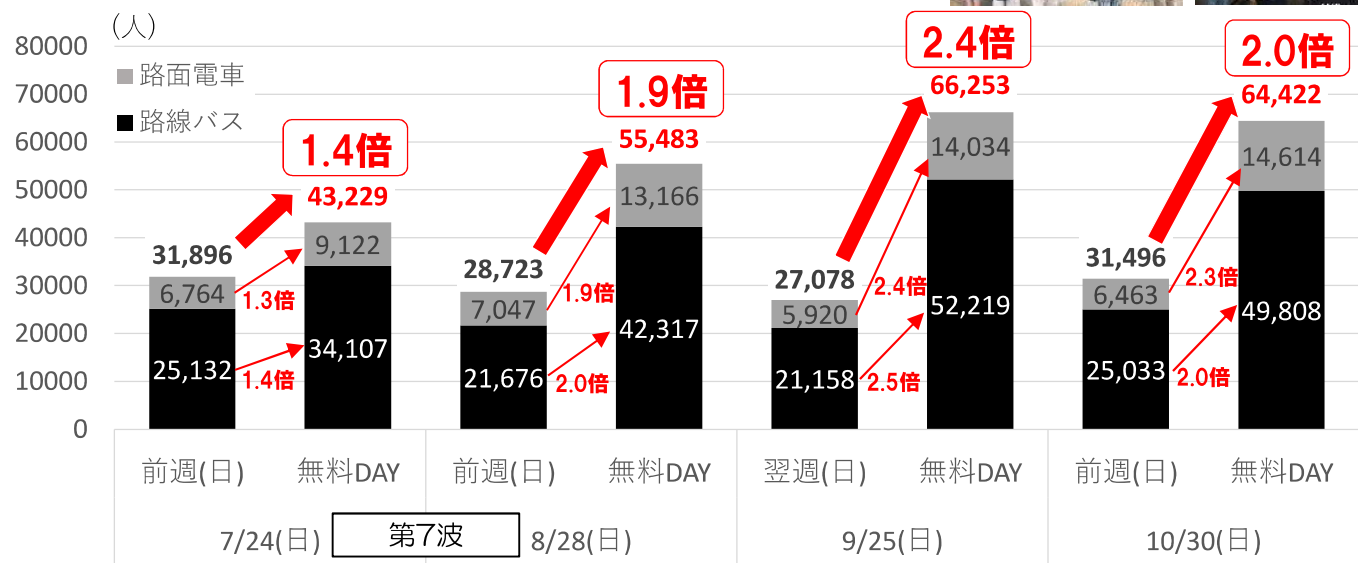


- 実施日** 7月～12月の第4日曜日など計8回(右図参照)
- 実施内容** 一部でも岡山市内を運行する路線バス及び路面電車の全ての便を無料化
※対象は岡山市民に限定しない
※年齢に関係なく、何回でも無料で利用可
- 利用方法** 乗車時に整理券を取り、指定の回収場所に入れて降車(一部事業者では整理券を取らずに乗車可)

2. 当日の利用者数

- 当日の利用者数は、新型コロナウイルス感染拡大の第7波が収束した9月以降、**通常の日曜日と比較して毎回2倍以上に増加しており、岡山城がリニューアルオープンした11月3日が最大となった**

路線バス・路面電車の利用者数 図1



※9/25(日)は、前週が台風のため翌週10/2(日)と比較
 ※11/3(木)は、祝日のため、直後の11/6(日)と比較(直前の日曜は無料DAY)
 ※11/20(日)は、前週が岡山マラソン、翌週が無料DAYのため11/6(日)と比較
 ※11/27(日)は、前週が無料DAYのため11/6(日)と比較

3. 利用促進効果 (11/20・27無料DAYのアンケート調査より)

アンケート調査の概要

調査日 ● 令和4年11月20日・27日の運賃無料DAY

調査手法 ● 無料DAY当日に、岡山駅東口バスターミナル、岡山駅前電停、天満屋バスステーションで、路線バス・路面電車の利用者に調査員が調査票を配布(各日2000人に配布)
● 利用者はWEB(市HP内の回答フォーム)または配布された回答用はがきで回答

※WEB調査は全8回で実施したが、幅広く利用者から回答を得るため重点的に実施

調査日	~10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代~	不明	総計
11月20日	44	66	68	94	135	114	104	49	11	685
11月27日	24	37	51	89	118	102	129	42	9	601
合計	68 (5%)	103 (8%)	119 (9%)	183 (14%)	253 (20%)	216 (17%)	233 (18%)	91 (7%)	20 (2%)	1286 (100%)

回収数
【回収率】
32%

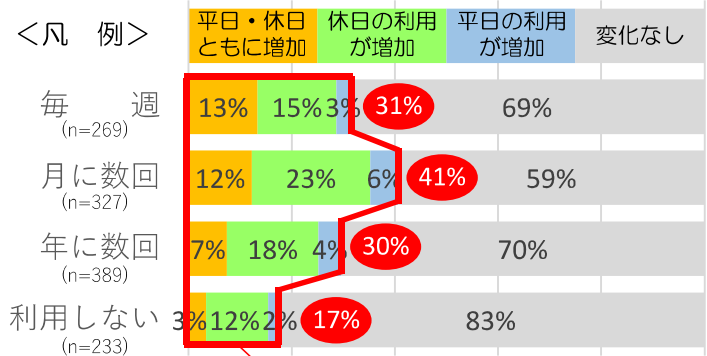
主な分析結果

Q1:無料DAYをきっかけに、その後の利用頻度は増えましたか？

図2

- 無料DAY（過去実施分を含む）をきっかけに、その後の公共交通利用が増えたと回答した方は、路線バス・路面電車をふだん利用する方で30~41%、ふだん利用しない方も17%となり、一定の利用促進効果が確認された（図2）
- また、無料DAYへの参加回数が多いほど、その後のふだんの利用増につながる可能性があることが確認された（図3）

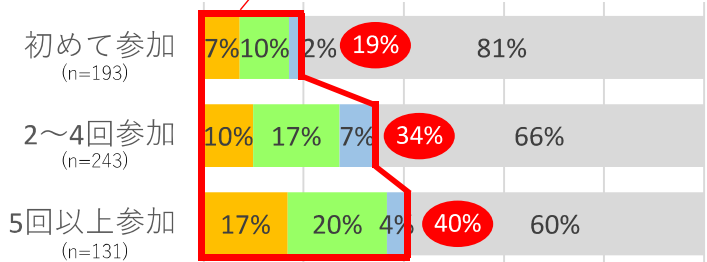
ふだんの利用頻度



ふだんの利用が増加

図3

無料DAY参加回数

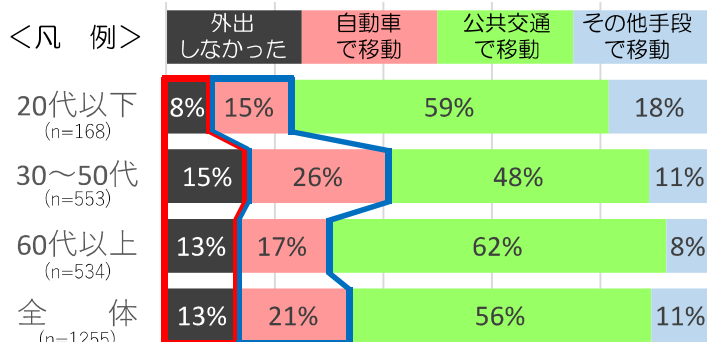


※図3は11月27日利用者の集計

Q2:運賃が無料でなかった場合、当日の外出や移動は？

図4

- 無料DAYでなければ「外出しなかった」と回答した方は、20代以下で8%、30~50代で15%、60代以上で13%
- 無料DAYでなければ「自動車で移動」と回答した方は、20代以下で15%、30~50代で26%、60代以上で17%
- 運賃無料DAYでは、全ての年齢階層で外出機会の創出や自動車からの転換が一定程度図られた



外出機会創出 自動車からの転換

※「全体」は年齢不明除く

4. 経済への影響分析

(1) 消費喚起効果

● 11月20日及び27日の運賃無料DAYでは、3000~3500人程度の外出促進効果があり、これにより、**2,100~3,000万円程度の消費喚起効果**があった

① 外出促進効果

	路線バス・路面電車 延べ利用者数	÷	1人あたり 平均利用回数	×	無料DAYでなければ 外出しなかった割合	=	無料DAYだから 外出した方
<11/20>	64,585 人	÷	2.5 回	×	12.1 %	=	3,075 人
<11/27>	64,828 人	÷	2.5 回	×	13.8 %	=	3,530 人

② 消費喚起効果

	1人あたり 平均消費額※1	×	無料DAYだから 外出した方	=	無料DAYによる 消費増加分
<11/20>	7,006 円	×	3,075 人	=	2,154 万円
<11/27>	8,434 円	×	3,530 人	=	2,977 万円

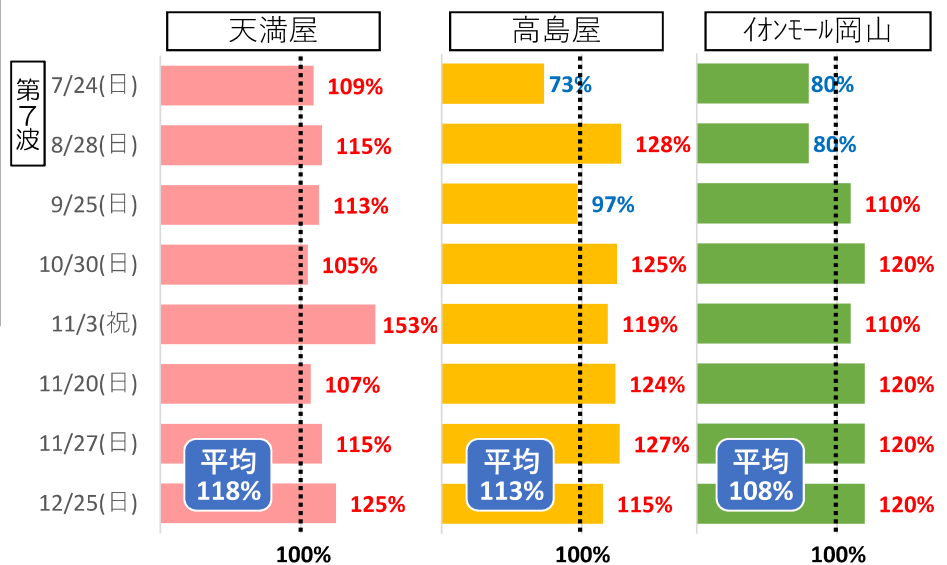
※1 「無料DAYでなければ外出しなかった」と回答したサンプルの平均値

(2) 大規模商業施設の入店者数

● 運賃無料DAY当日の大規模商業施設の入店者数は、前週※の通常の日曜日と比較して、**ほとんどの実施日で増加**しており、全8回の平均増加率は**天満屋が118%、高島屋が113%、イオン岡山が108%**となった

※11/3(祝・木)は前週が通常の平日のため11/6(日)と比較
 ※11/20(日)は前週が岡山マラソンのため11/6(日)と比較
 ※11/27(日)は前週が運賃無料DAYのため11/6(日)と比較
 ※セールスプロモーション等の影響も含む

<入店者数(前週比※)>



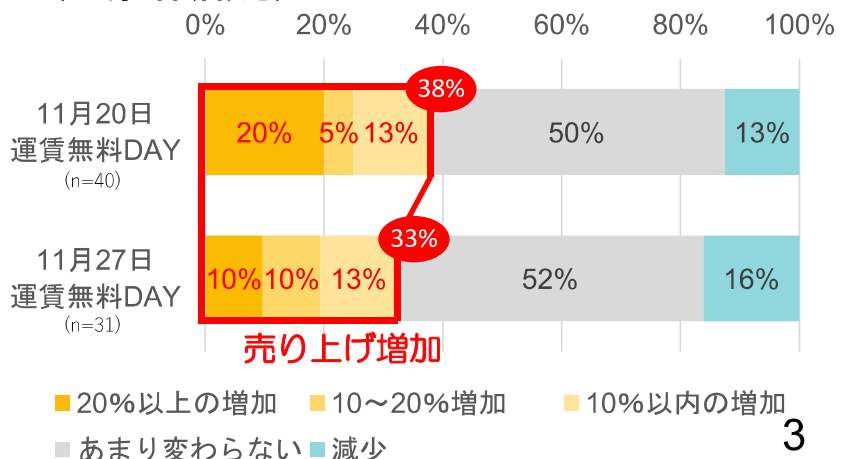
(3) 中心部店舗の売り上げへの影響

● 通常の日曜日(11/6)と比較して、**運賃無料DAYに売り上げが増加した中心部の事業所は、11月20日で38%、11月27日で33%**となり、経済への好影響が確認された

<調査概要(実施主体:岡山商工会議所)>

- 中心部で営業する約350事業所(飲食業・小売業・対面サービス業)及び大型商業施設を対象に調査(郵送配布・郵送・FAX・WEBで回答)
- 回答数は、11月20日分が40事業所、11月27日分が31事業所

<11月20日・27日運賃無料DAYの売り上げ変化>
(11月6日(日)比)



5. 中心部の滞在人数及び主要動線上の通行人数

- 中心部の滞在人数は、通常の日曜日と比較し、9月以降全ての無料DAYで増加し、岡山城がリニューアルオープンした11月3日で33%、ハレまち通りや西川緑道公園筋でホコテン等が開催された9月25日や11月27日が約20%の高い増加率となった（図7）
- 通行人数についても、表町商店街で37%、桃太郎大通り・県庁通りで36%、ハレまち通りで31%、西川緑道公園筋で27%増加するなど、面的な賑わいが創出された（図8）

■ 中心部の滞在人数(1kmスクエア)

※エリア内で連続15分以上観測された推計人数（勤務者・居住者除く）
 ※基準日はR4.7~12月の無料DAY以外の日曜の平均値

【集計エリア】

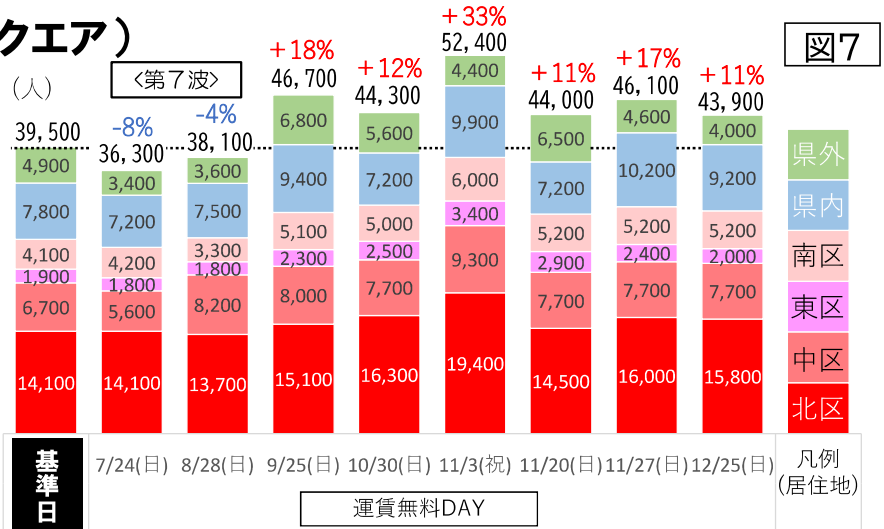
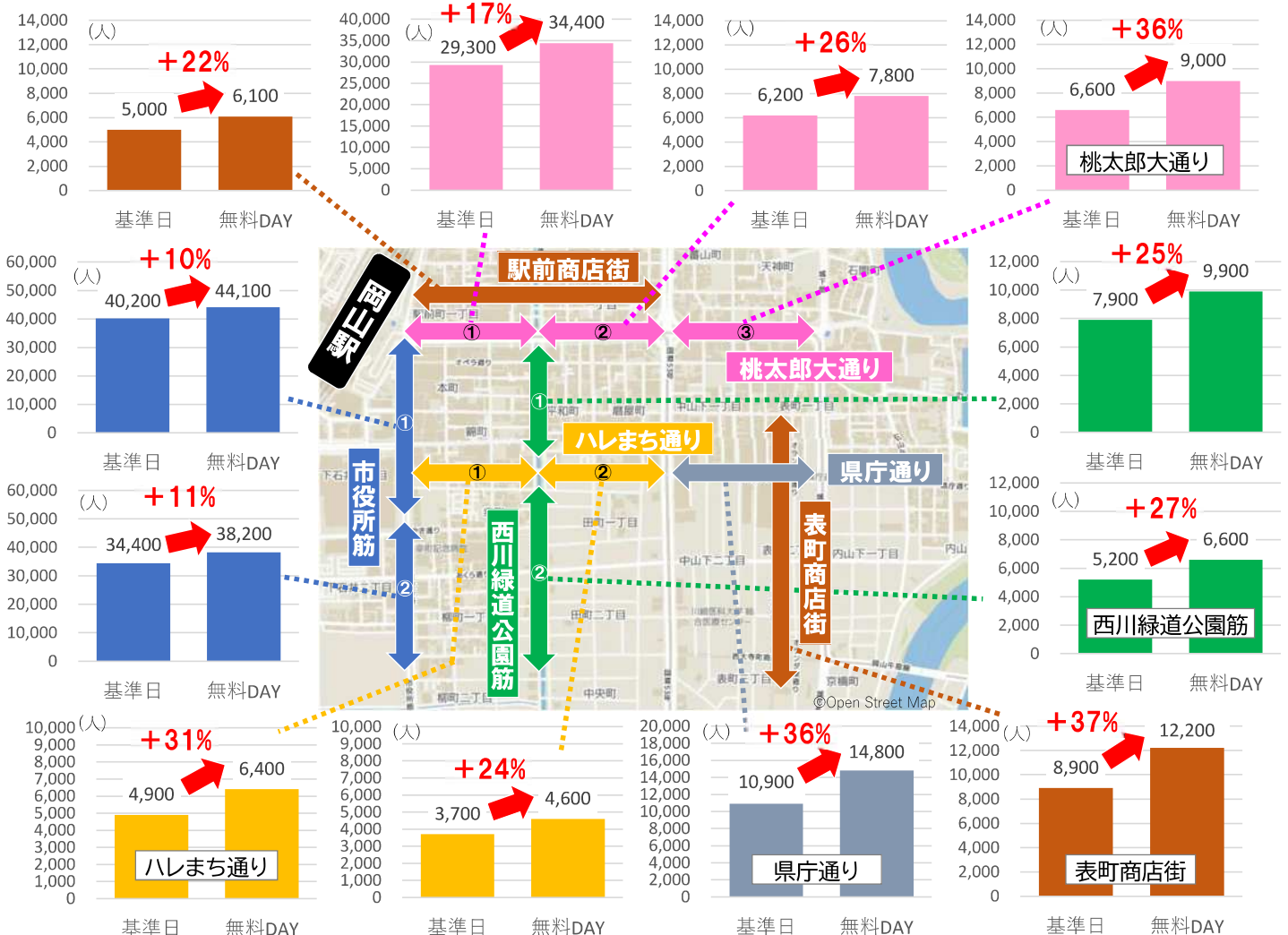


図7

■ 通行人数

※対象道路の通行人口を1時間ごとに集計したもの（勤務者・居住者除く）
 ※無料DAYは全8回の平均値、基準日はR4.7~12月の無料DAY以外の日曜の平均値
 （ただし、市役所筋・ハレまち①・西川②の8/21(うらじゃ)、表町は10/23(エカローガ)を除く）



(データ) 「KDDI Location Analyzer」 KDDI・技研商事インターナショナル

※auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計されたデータ